

本書の使い方

本編は、【どんな人？】、【ストーリー】、【話しましょう】の三つのパートがあります。ほかに、学習者が気づいたこと、心に留めたいと思うことを書く【わたしのノート】があります。どのページも以下の三つの活動を意識して、使ってみてください。

マクロの活動	・目的：社会・経済・政治につなげる ・活動：発信する・つなげる
メゾの活動	・目的：アイデンティティの構築・エンパワー ・活動：表現する・関係を作る
ミクロの活動	・目的：ことばを発見する ・活動：気づく・共有する

参考：The Douglas fir group. (2016). A Transdisciplinary framework for SLA in a multilingual world. *The Modern Language Journal*, 100 (51), 19-47.

＊本書では日本語を学習する人を学習者、支援する人をサポーターと呼びます。

ミクロレベルの活動「気づく・共有する」

学習者の活動：【どんな人？】や【ストーリー】を見て、気になることばを見つけたら、となりの学習者やサポーターに意味を聞いたり、自分で調べたりします。自分にとって大切なことばや文は、【わたしのノート】のページに書きます。付箋を用意して貼ったり、トピックごとにことばをまとめたり、絵を描いたりしてもいいです。また、気づいたことを友だちと共有します。

サポーターの活動：意味を聞かれたら、いっしょに調べましょう。また、記憶に残りやすくするために、テーマに関係ある情報や写真を用意するのもいいでしょう。用意できなくても、学習者やサポーターがその場で持っているものを活用しましょう。たとえば、携帯電話を使って日本語でWebの情報を検索したり、YouTubeなどをいっしょに見たりすることによって、話が広がります。

メゾレベルの活動「表現する・関係を作る」

学習者の活動：【どんな人？】や【ストーリー】を読んで、話します。一人ずつ黙読をしてもいいですし、二、三人でいっしょに音読してもいいです。翻訳を読んでも大丈夫です。そのあと、「わたしの経験は……」、「わたし（の考え）は……」と自分のことを表現しましょう。「〇〇さんの場合はどう？」と友だちやサポーターと聞き合い、お互いを知っていきます。

サポーターの活動：学習者によって、得意な、あるいは好きな読み方があります。そこにいる全員が同じ読み方をしなくてもいいです。学習者は、どうすれば読みやすいのかを知っています。読み終わったら、学習者が話しやすい雰囲気を作ります。〇〇さんの場合はどうですか？と聞いて、話を促しましょう。話が逸れても、それが学習者の話したいことであれば、積極的に話してもらいましょう。学習者が話した後は、サポーターの経験を話すのもいいでしょう。

マクロの活動「発信する・つなげる」

学習者の活動：ストーリーをきっかけにして、「わたし」と社会の関係を考えます。たとえば、漢字や敬語はわたしの生活や生き方とどのような関係がある？ 必要？ 必要じゃない？ 日本の文化や社会、経済、政治はわたしの生活にどんな影響を与えている？ 仕事のやり方や学校の規則など、日本のシステムが難しいのは日本語の問題？ 日本語を学習したら、どんな未来になる？ など、「わたし」と社会をつなげて話合ってみましょう。

サポーターの活動：学習者と同じように、ストーリーをきっかけにして、「わたし」と社会の関係を考えてみましょう。あまり意識したことはないかもしれませんが、サポーターが行っている日本語に関わる活動は、日本や世界の社会や文化、経済、政治と深く関わっています。「life (生)・社会・参加」をキーワードに、サポーターと学習者が対等な立場で、いっしょに話してみましょう。学習者が知っていて、サポーターが知らないこと、学習者から教えてもらうこともたくさんあるでしょう。

なお、本書の【ストーリー】は、日本に移住されてきた方が語った実際の話を、ほぼそのままご本人の許可を得て載せていますが、話してくださった方の出身や来日の経緯など、一般的なプロフィールはあまり書いていません。話してくださった方のプライバシーを守るという点はもちろんですが、先入観なしに、一人一人のストーリーを読んでほしいと思うからです。

*各ストーリーの英語・中国語・韓国語・ベトナム語の翻訳をご用意しています。以下のWebサイトにて無料でダウンロードいただけます。

<https://www.cocopb.com/watashitachi/home.html>



わたしのノート



ちっちゃい

=小さい
ちっちゃい花

さっぱりした味



こってりした味

労働条件

*給料、時給、休み

手続き

システム

● おも 思ったこと・わかったこと

ほかの人の日本での生活と日本語の勉強法を学習したり、
いろいろな文化を交流したり、とてもうれしかった。

わたしの「日本語のスタート」は、今日から。

